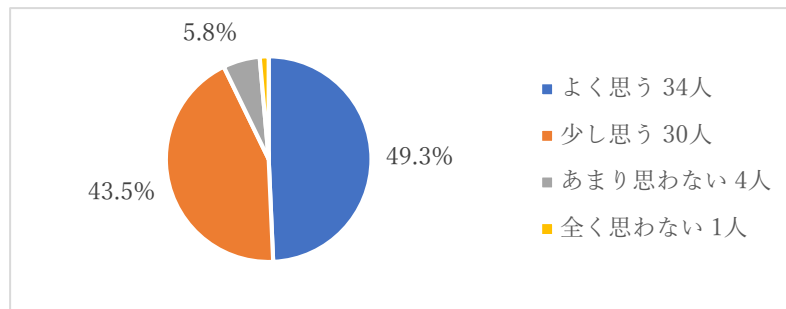


**I 令和6年度「教育活動に関するアンケート」集計結果（令和6年12月実施 回答率：約93%）**  
**大崎市立大貫小学校**

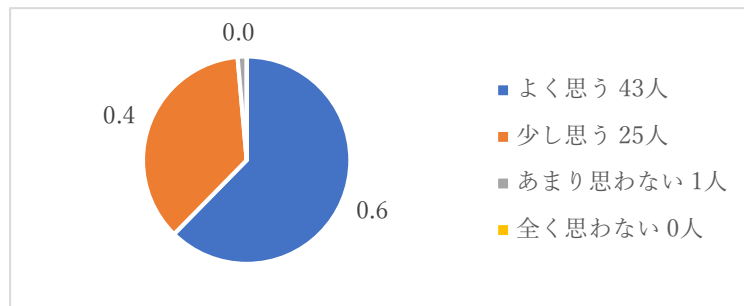
**1) 学校運営について**

1 学校は、保護者・地域の人々に耳を傾け、開かれた学校づくりに努力している。



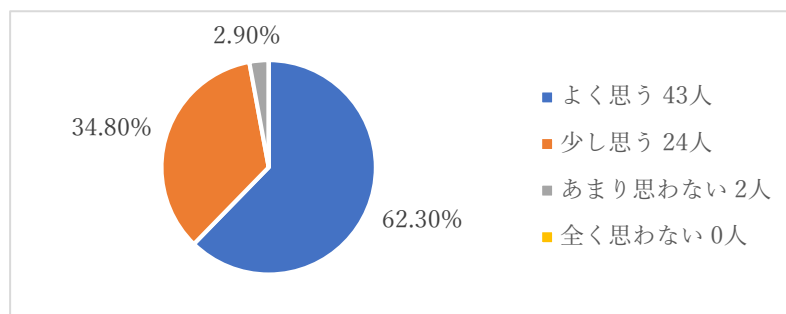
よく思う	少し思う	あまり思わない	全く思わない
49.3%	43.5%	5.8%	1.4%
34人	30人	4人	1人
R5 65%	30%	5%	0%

2 学校は、子どもが元気で安全に学ぶことができるように配慮している。



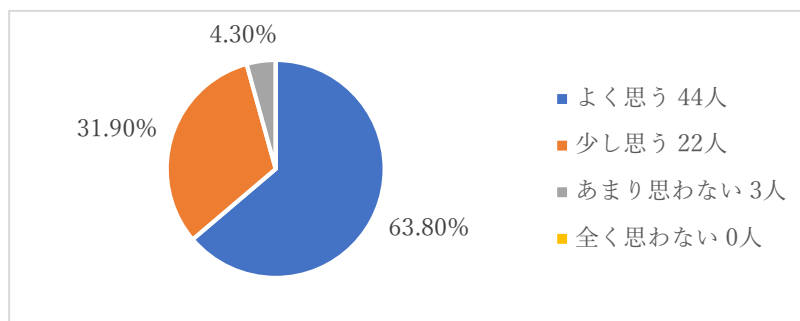
よく思う	少し思う	あまり思わない	全く思わない
62.3%	36.2%	1.4%	0%
43人	25人	1人	0人
R5 70%	28.7%	1.2%	0%

3 学校は、子どもが十分に活躍できる場を設定している。



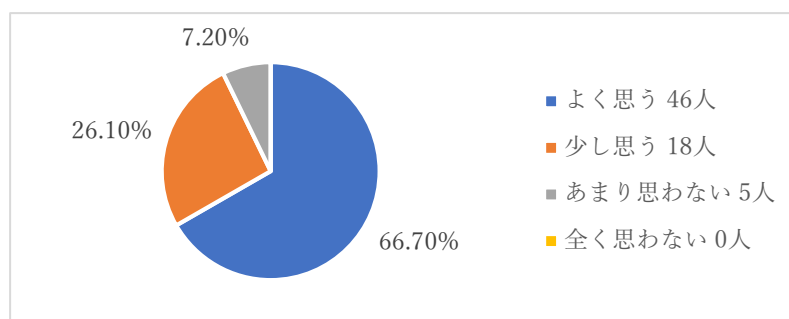
よく思う	少し思う	あまり思わない	全く思わない
62.3%	34.8%	2.9%	0%
43人	24人	2人	0人
R5 68.8%	28.7%	2.5%	0%

4 学校は,特色ある（地域の人材や自然等を生かした）教育活動を行っている。



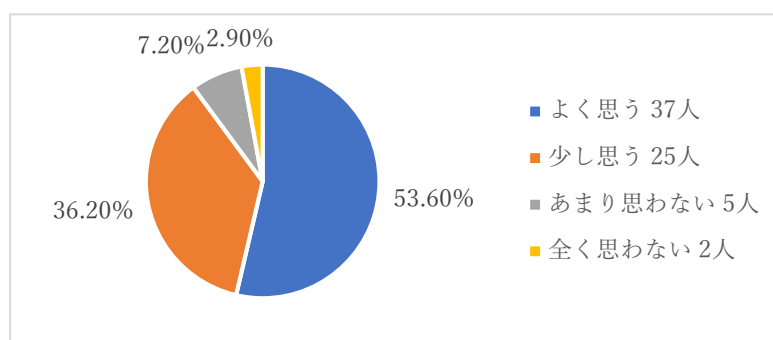
よく思う	少し思う	あまり思わない	全く思わない
63.8%	31.9%	4.3%	0%
44 人	22 人	3 人	0 人
R5 77.5%	21.3%	1.2%	0%

5 学校は,学習参観・学級懇談などの学校開放日を適切に設定している。



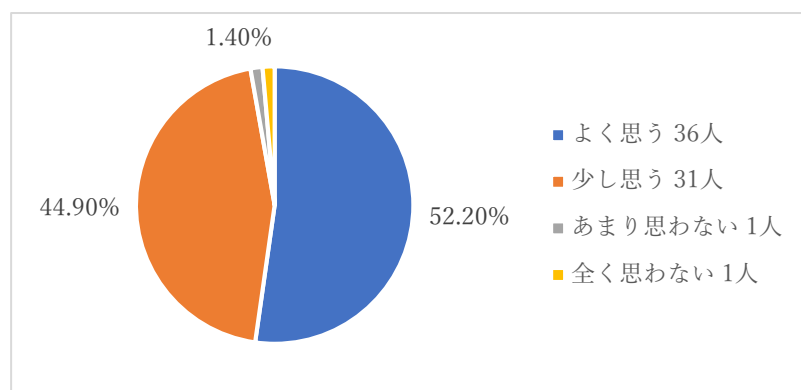
よく思う	少し思う	あまり思わない	全く思わない
66.7%	26.1%	7.2%	0%
46 人	18 人	5 人	0 人
R5 76.3%	20%	3.7%	0%

6 学校・学級だより等で,学校における子どもの様子が分かる。



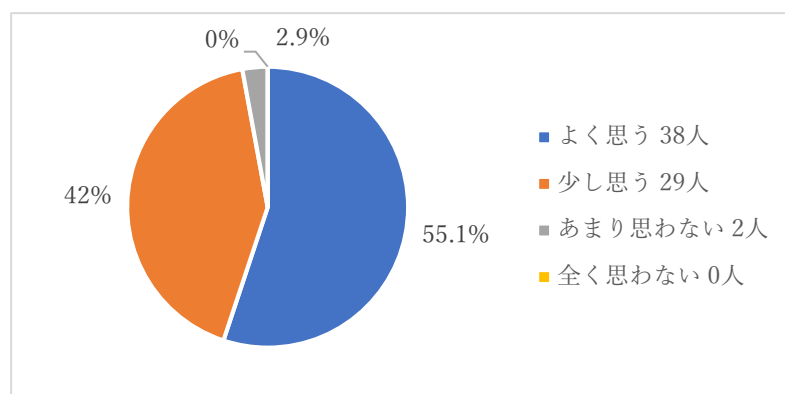
よく思う	少し思う	あまり思わない	全く思わない
53.6%	36.2%	7.2%	2.9%
37 人	25 人	5 人	2 人
R5 62.5%	28.7%	7.5%	1.2%

7 学校は,緊急事態（新型コロナウイルス・地震・大雨・不審者情報等）が発生した場合の対応や連絡を適切に行っている。



よく思う	少し思う	あまり思わない	全く思わない
52.2%	44.9%	1.4%	1.4%
36 人	31 人	1 人	1 人
R5 80%	16.2%	3.7%	0%

8 学校は,教育環境の整備や美化に努めている。



よく思う	少し思う	あまり思わない	全く思わない
55.1%	42%	2.9%	0%
38 人	29 人	2 人	0 人
R5 70%	27.5%	1.2%	1.2%

#### 【結果の傾向と今後の対応について】

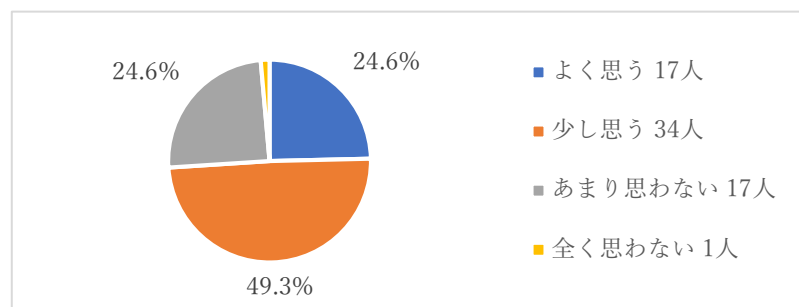
(1) 学校運営について,「よく思う」「少し思う」を合わせるとどの項目でも90%を超えている。

中でも,「子どもが元気で安全に学ぶことができるように配慮している」,「子どもが十分に活躍できる場を設定している」「地域の人材や自然環境を生かした教育活動の実施」については,95%以上の方が「よく思う」「少し思う」と答えている。今後も児童の安全の確保や地域人材・自然環境を生かした教育の充実に力を入れていきたい。

一方,「学校・学級だより等で,学校における子どもの様子が分かる」については,「あまり思わない」「全く思わない」と答えている方が8.7%おり,より一層児童の活動の様子がよく分かる内容となるよう工夫していく。また学校だより等は今後もメールやホームページでの配信も行っていく。

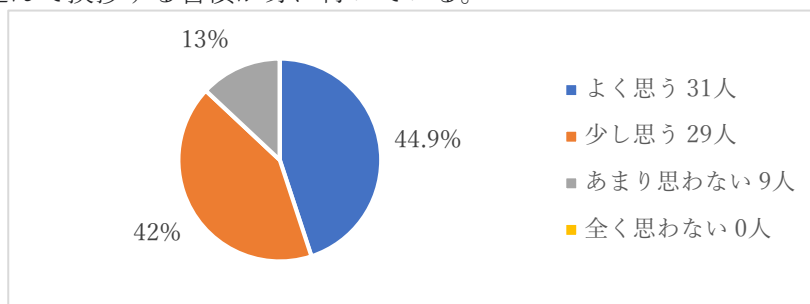
## (2) 教育目標の具現化に向けた取組について

### 1 お子さんは、何事にもめあてを持って取り組んでいる。



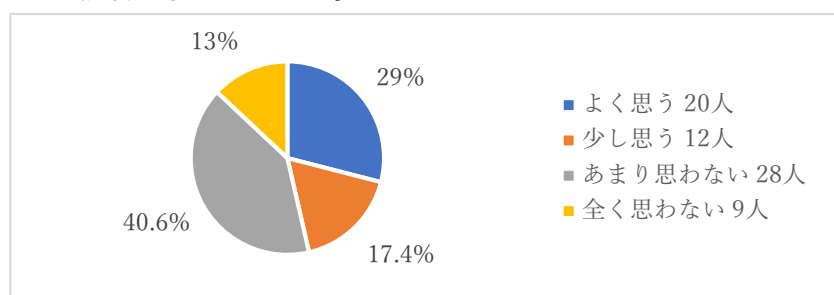
よく思う	少し思う	あまり思わない	全く思わない
24.6%	49.3%	24.6%	1.4%
17 人	34 人	17 人	1 人
R5 36.3%	40%	23.8%	0%

### 2 お子さんは、進んで挨拶する習慣が身に付いている。



よく思う	少し思う	あまり思わない	全く思わない
44.9%	42%	13%	0%
31 人	29 人	9 人	0 人
R5 46.3%	46.3%	7.5%	0%

### 3 お子さんは、進んで読書に親しんでいる。



よく思う	少し思う	あまり思わない	全く思わない
29%	17.4%	40.6%	13%
20 人	12 人	28 人	9 人
R5 30%	32.5%	30%	7.5%

#### 【結果の傾向と今後の対応について】

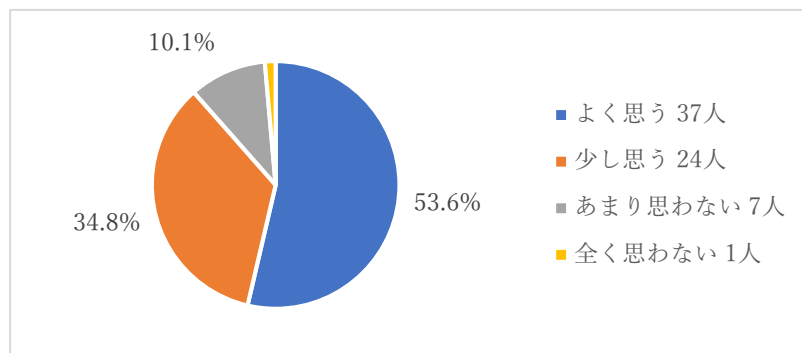
(2) 本校の教育目標である「大きな夢と めくもりを胸に きょう味をもって学ぶ子」の具現化に向け、「めあてをもつ」「挨拶」「読書」の三つを重点目標として教育活動を行っている。

「めあてをもった行動」「進んで挨拶」については、70～80%の人が「よく思う」「少し思う」と答えており、今後もめあてや挨拶のよい習慣を継続したいと考える。

一方「進んで読書」では、「あまり思わない」と答えている方が半数を超えている。日頃より図書館利用や読書活動の奨励など行い、進んで読書に親しませていきたい。

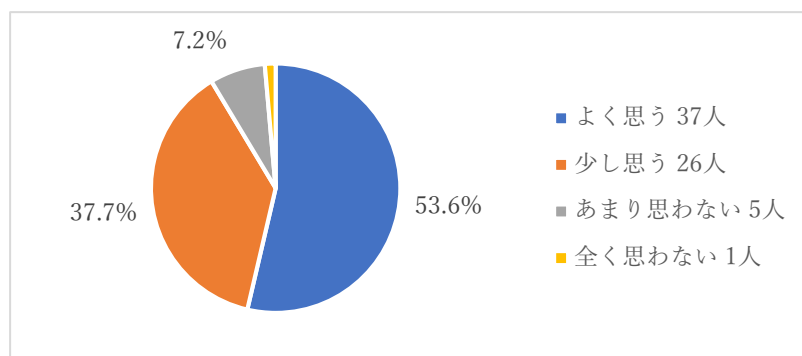
(3) 教師の指導について

1 教師は、学力向上を目指して分かりやすい授業を工夫している。



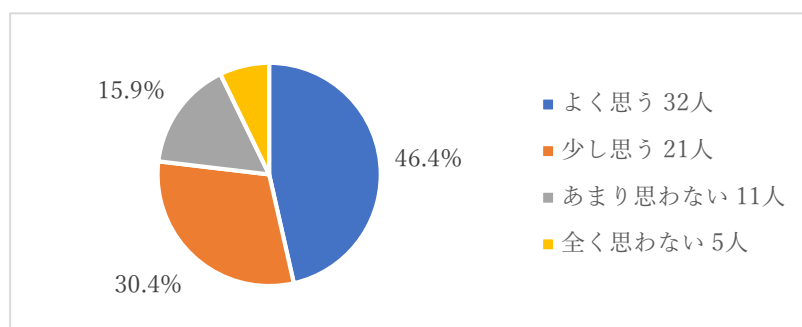
よく思う	少し思う	あまり思わない	全く思わない
53.6%	34.8%	10.1%	1.4%
37 人	24 人	7 人	1 人
R5 73.8%	18.8%	7.5%	0%

2 教師は、子どもの能力や努力の様子を適切に評価し、認め伸ばそうとしている。



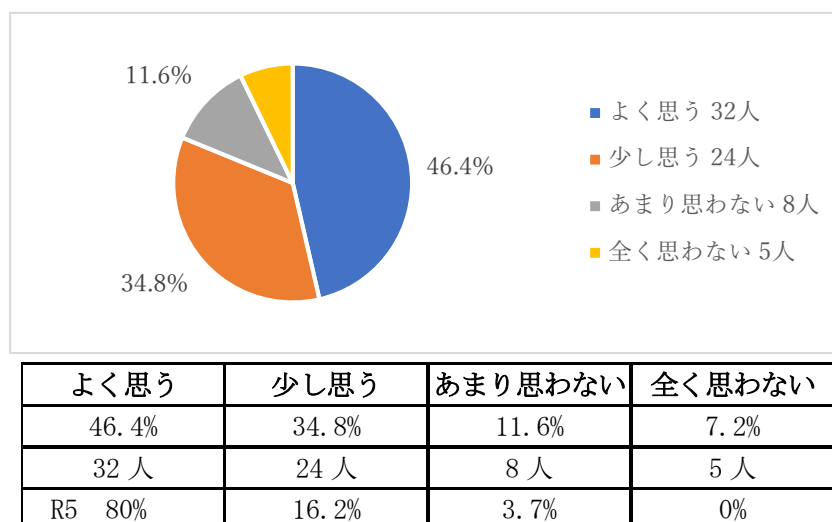
よく思う	少し思う	あまり思わない	全く思わない
53.6%	37.7%	7.2%	1.4%
37 人	26 人	5 人	1 人
R5 73.8%	20%	6.3%	0%

3 教師は、家庭との連携を適切に行っている。



よく思う	少し思う	あまり思わない	全く思わない
46.4%	30.4%	15.9%	7.2%
32 人	21 人	11 人	5 人
R5 73.8%	13.7%	12.5%	0%

#### 4 教師は,子どもや保護者の相談に対して適切に応じている。



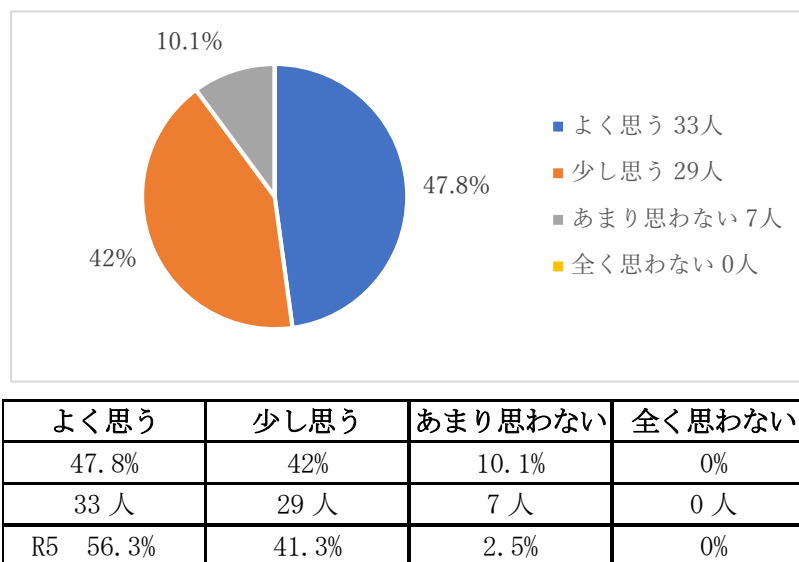
##### 【結果の傾向と今後の対応について】

(3) 教師の指導について、「学力向上を目指した分かりやすい授業」「子どもの能力や努力の適切な評価」で「よく思う」と答えている人が半数を超えている。

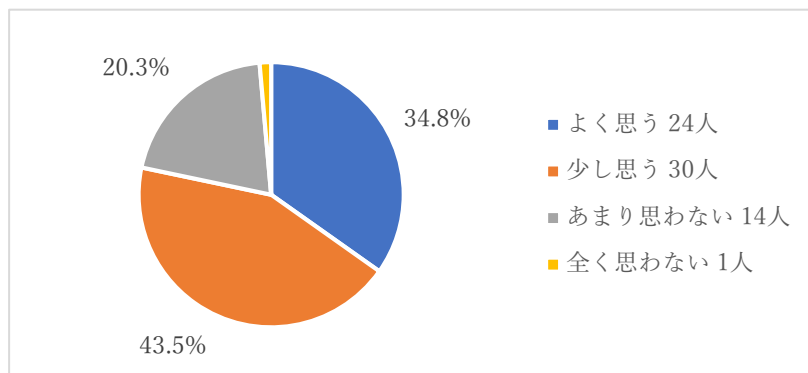
一方「家庭との連携を適切に行っている」については、23.1%の方が「あまり思わない」「全く思わない」と答えており、家庭との連携についてさらに努力しく必要がある。

#### (4) 子どもの実態について

- 1 お子さんは,思いやりの心を持ち,相手の気持ちを考えながら協力し合って生活している。  
[やさしさ]

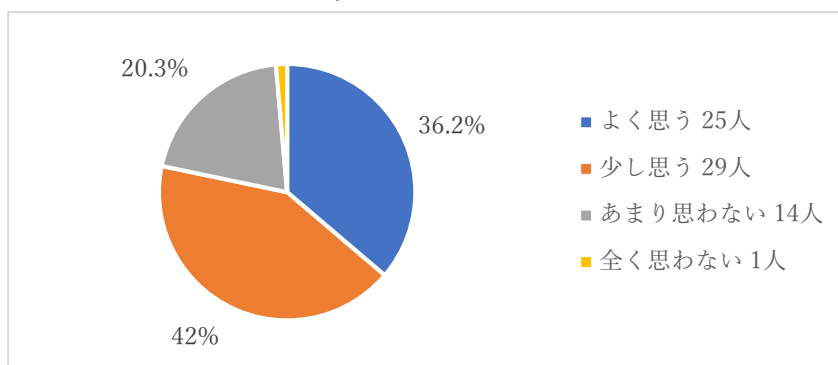


2 お子さんは、興味を持って学習に取り組み、基礎的・基本的な内容を身に付けている。  
[かしこさ]



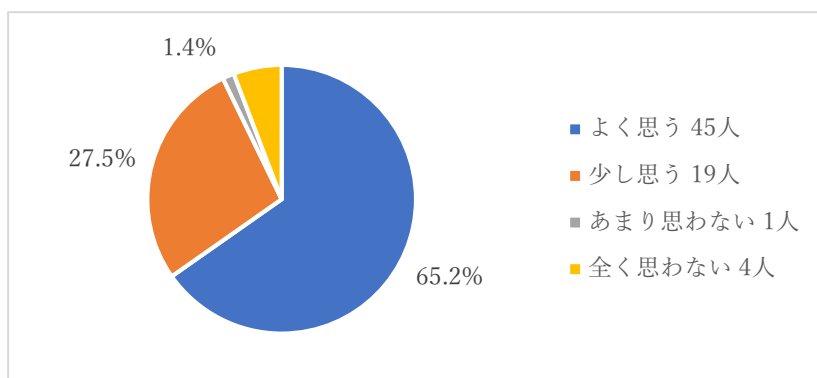
よく思う	少し思う	あまり思わない	全く思わない
34.8%	43.5%	20.3%	1.4%
24 人	30 人	14 人	1 人
R5 38.8%	41.3%	20%	0%

3 お子さんは、様々なことにチャレンジし、粘り強く取り組む力が身に付いている。  
[たくましさ]



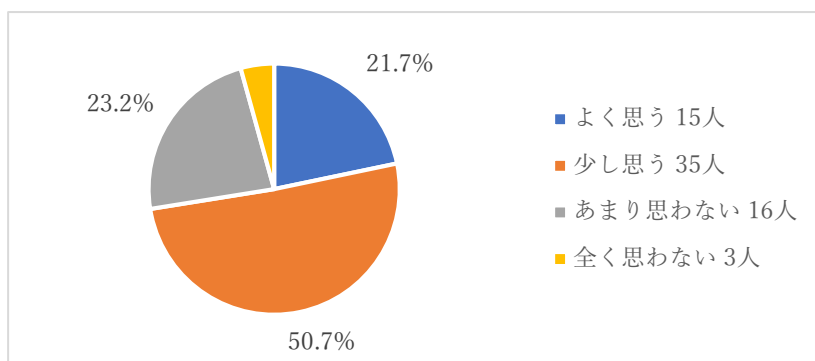
よく思う	少し思う	あまり思わない	全く思わない
36.2%	42%	20.3%	1.4%
25 人	29 人	14 人	1 人
R5 38.8%	40%	21.3%	0%

4 お子さんは、学校に行くことを楽しみにしている。



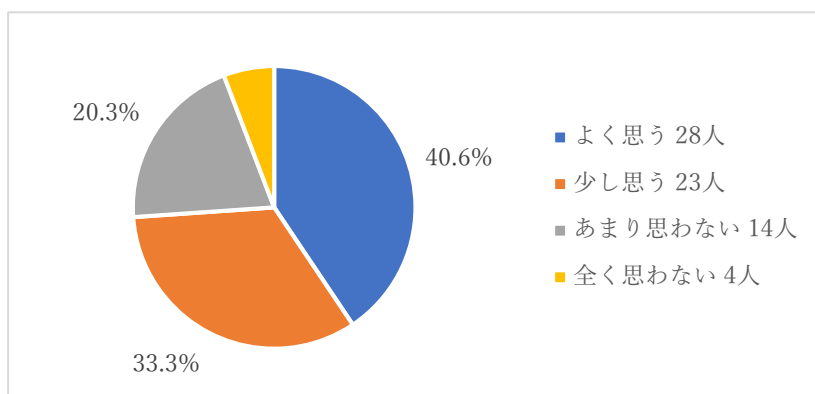
よく思う	少し思う	あまり思わない	全く思わない
65.2%	27.5%	1.4%	5.8%
45 人	19 人	1 人	4 人
R5 66.3%	26.3%	7.5%	0%

5 お子さんは、望ましい言葉遣いがきちんと身に付いている。



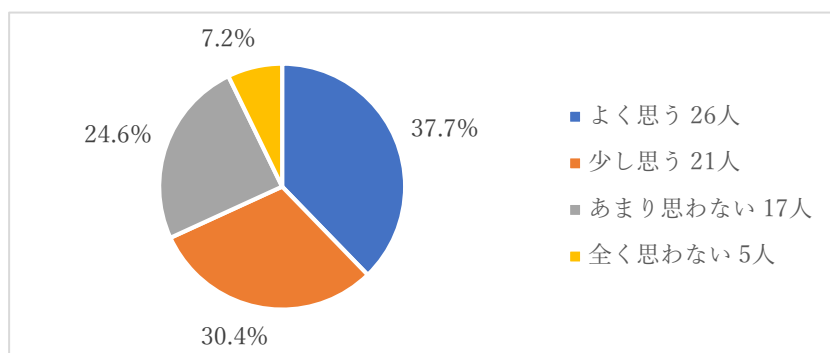
よく思う	少し思う	あまり思わない	全く思わない
21.7%	50.7%	23.2%	4.3%
15人	35人	16人	3人
R5 31.3%	43.8%	25%	0%

6 お子さんは、早寝・早起き・朝ごはんの習慣が身に付いている。



よく思う	少し思う	あまり思わない	全く思わない
40.6%	33.3%	20.3%	5.8%
28人	23人	14人	4人
R5 40%	40%	20%	0%

7 お子さんは、自主的な家庭学習の習慣が身に付いている。



よく思う	少し思う	あまり思わない	全く思わない
37.7%	30.4%	24.6%	7.2%
26人	21人	17人	5人
R5 31.3%	40%	23.7%	5%



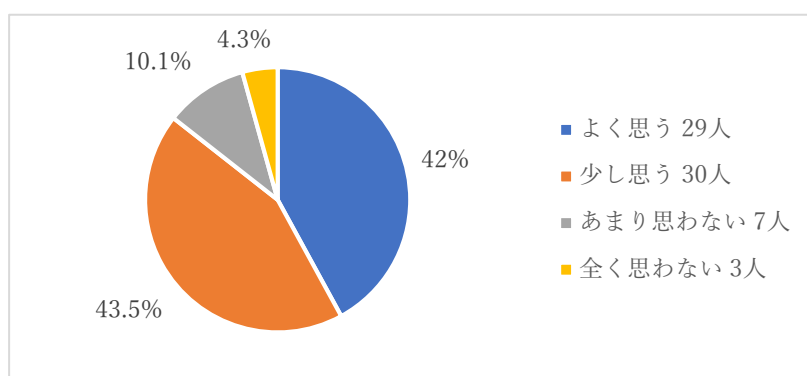
【結果の傾向と今後の対応について】

(4) 1～3は、大貫小の目指す児童像である。「よく思う」「少し思う」を合わせると、「やさしさ」が89.8%、「かしこさ」が78.3%、「たくましさ」が78.2%という結果で、「やさしさ」の割合が、他の項目に比べて高くなっている。

全体の「よく思う」「少し思う」を合わせた平均は、82.1%で、昨年度とほぼ同じでした。「基礎的・基本的な内容を身に付けている」「様々なことにチャレンジし、粘り強く取り組む力が身に付いている」「望ましい言葉遣いがきちんと身に付いている」「早寝・早起き・朝ごはんの習慣が身に付いている」「自主的な家庭学習の習慣が身に付いている」では、「あまり思わない」と答えている方が20%以上おり、今後継続して改善を図っていく。

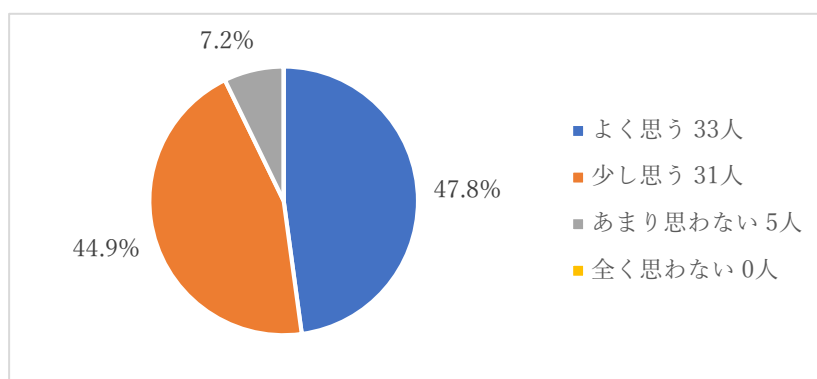
(5) 家庭の取組について

1 家庭学習の習慣が身に付くよう、子どもへの働き掛けを行っている。



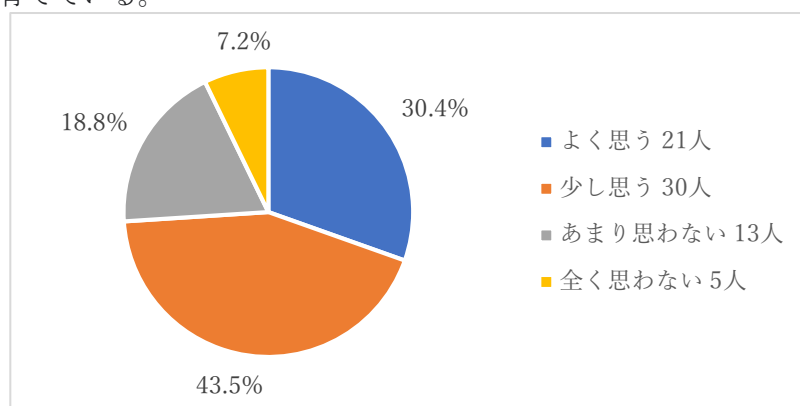
よく思う	少し思う	あまり思わない	全く思わない
42%	43.5%	10.1%	4.3%
29人	30人	7人	3人
R5 40%	47.5%	11.3%	1.2%

2 挨拶や言葉遣い,正しい生活習慣（早寝・早起き・朝ごはん）などの基本的なしつけに努めている。



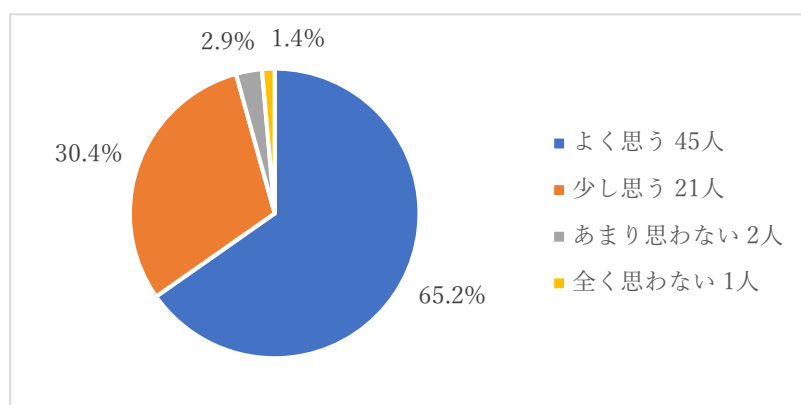
よく思う	少し思う	あまり思わない	全く思わない
47.8%	44.9%	7.2%	0%
33人	31人	5人	0人
R5 46.3%	47.5%	6.3%	0%

3 映像メディア（スマホ・ゲーム機・タブレット・テレビ・・・等）の利用についてルールを決め、適切に利用できる力を育てている。



よく思う	少し思う	あまり思わない	全く思わない
30.4%	43.5%	18.8%	7.2%
21 人	30 人	13 人	5 人
R5 15%	56.3%	23.7%	5%

4 学校行事やP T A活動などに進んで参加・協力するように努めている。



よく思う	少し思う	あまり思わない	全く思わない
65.2%	30.4%	2.9%	1.4%
45 人	21 人	2 人	1 人
R5 67.5%	28.7%	2.5%	1.2%

【結果の傾向と今後の対応について】

（５）「挨拶や言葉遣い，正しい生活習慣などの基本的なしつけに努めている」（９２．７％），「学校行事やP T A活動などに進んで参加・協力するように努めている」（９５．６％）では，９０％以上の方が「よく思う」「少し思う」と答えている。

一方，「映像メディアのルールを決め，適切に利用できる力を育てている」では，「あまり思わない」「全く思わない」と答えている方が２６％おり，学校と家庭と連携してメディアの適正利用について指導することが必要である。